

2018年（平成30年）4月18日

平成29年度 輸送実績（速報）

1. 輸送概況

平成29年度は、上期に発生した全国各地での大雨や相次ぐ台風の接近および1月・2月の新潟・北陸・函館地区での大雪の影響等により、高速貨1,934本、専貨32本が運休となった（前年度は、高速貨1,447本、専貨30本が運休）。9月中旬に接近した台風18号の影響で長期にわたり不通となった日豊線では、復旧までの間トラックによる代行輸送を実施した。

コンテナは、積合せ貨物が労働力不足・労務管理厳正化により中長距離帯における鉄道利用が伸長した。また自動車部品は国内自動車販売が好調に推移し、東海地区発を中心に大きく増送となった。さらに飲料・ビール等の共同輸送が進む食料工業品、新規・既存ともに利用の増加した化学薬品、建設発生土輸送が堅調なエコ関連物資等が前年を上回った。

一方、紙・パルプは国内需要の減少に伴う販売不振が続いており、大きく出荷が落ち込んだ。その結果、コンテナ全体では前年比102.0%となった。

車扱は、石油が配送圏の見直しにより通年で鉄道へのシフトが進んだほか、冬季の気温低下に伴って灯油の需要が増加したことから好調に推移し、セメントの需要減はあったものの、車扱全体では前年比102.9%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	平成29年度計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	22,437	21,994	102.0%
車扱	9,205	8,945	102.9%
合計	31,642	30,938	102.3%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,972	1,969	3	100.1%
	化学工業品	2,097	2,104	-8	99.6%
	化学薬品	1,513	1,467	46	103.2%
	食料工業品	3,747	3,693	55	101.5%
	紙・パルプ	3,004	3,133	-128	95.9%
	他工業品	1,595	1,543	52	103.4%
	積合せ貨物	2,849	2,674	175	106.5%
	自動車部品	884	771	113	114.7%
	家電・情報機器	433	435	-3	99.3%
	エコ関連物資	488	460	28	106.1%
	その他	3,855	3,745	110	102.9%
コンテナ計	22,437	21,994	444	102.0%	
車扱	石油	6,250	5,945	305	105.1%
	セメント・石灰石	1,374	1,450	-75	94.8%
	車両	901	893	8	100.9%
	その他	680	657	22	103.4%
	車扱計	9,205	8,945	259	102.9%
合計	31,642	30,938	704	102.3%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）